

作田池 ハザードマップ

作田池 ハザードマップ

このマップは、作田池が地震等の原因により決壊した場合、想定される浸水区域、浸水深、氾濫流の到達時間、避難所等を示したものです。

万が一ため池が決壊した場合、短時間に大量の水が押し寄せるとともに水の流れが非常に強いので、浸水する前に一刻も早く近くの避難所や高台に避難して下さい。

このマップをもとに、日頃から避難所・避難路や近くの高台への経路を確認しておくとともに、万が一の際には早めの避難を心がけましょう。

ハザードマップの作成条件等

マップに示した浸水区域、浸水深、氾濫流の到達時間は、満水位の状態にある作田池が決壊し、ため池内の貯水量が全て下流に流出した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

ため池の水位の状況、気象状況、決壊の状態によってはこのマップの浸水状況と異なる場合もあります。

【作成主体：いわき市農林水産部農地課 0246-22-7472】

【作成年：令和3年】

ひまわりちびっ子広場

作田池	
堤高	3.4m
貯水量	3000m ³

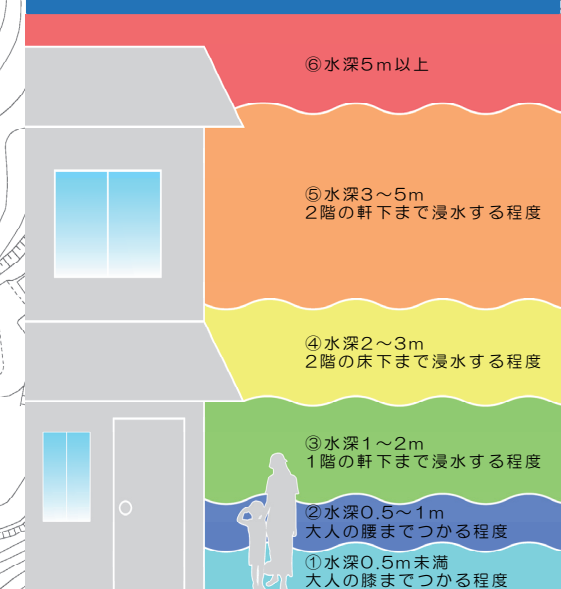
※堤高とは、ため池の堤防高さを示します。

決壊後5分

決壊後3分

決壊後1分

浸水深の目安



凡例

- 一時避難場所
- 津波浸水想定区域
- 氾濫流の到達時間
- 歩行困難または不可能エリア



ため池決壊時の心構え～落ち着いて早めに避難してください～

1. ため池ハザードマップとは

- 全国のため池の多くは老朽化が進行し、近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の被害が各地で発生しています。
- また、農村地域では都市化による混住化が進むとともに、過疎化、高齢化が進行し、ため池の適切な管理や緊急時の情報伝達が的確に行われないことが懸念されます。
- 「ため池ハザードマップ」は、ため池が決壊する恐れのある場合、または決壊した場合に迅速かつ安全に避難するため、想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップです。

2. ため池ハザードマップの活用

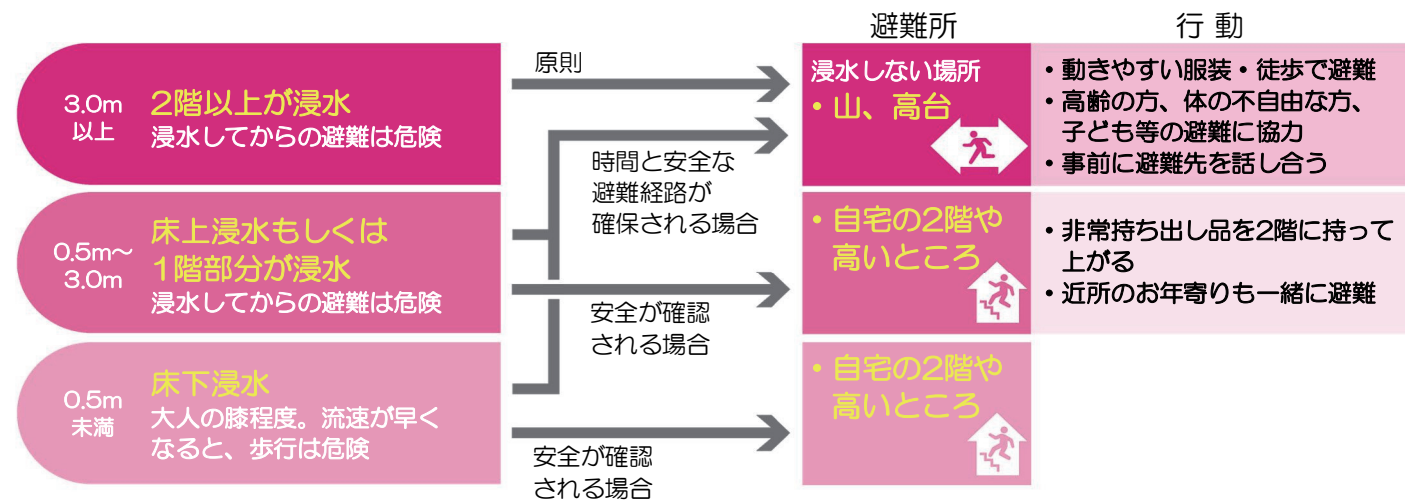
- 災害発生に関する情報を共有し、災害発生時には迅速かつ的確な避難を行えるよう、防災・減災意識を高めましょう。
- 日頃からテレビやラジオなどで防災情報などを確認し、自主的な防災活動を行ってください。

～ハザードマップとは～

自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難所などの防災関係施設の位置などを表示した地図

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難

- 想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- ※本資料は一般的な事例です。これを参考に、日頃から避難方法について確認しておきましょう。



周辺が浸水しておらず、日中で避難経路が明確な場合など

- 水平避難**
- 荷物は貴重品、必要な食料、衣料、日用品など必要最小限のものをリュック等に入れて両手を空けるようにしましょう。
 - 避難時にケガをしたり、歩行が困難になるため、裸足や長靴は危険ですのでやめましょう。
 - 避難は2人以上で行って下さい。ご近所と声をかけ合って、家族やグループで行動しましょう。
 - 車による避難は、渋滞を引き起こす原因となり、緊急車両の妨げになります。また、道路冠水などで動けなくなることもあり、危険ですのでやめましょう。
 - 安全な広い道路を選んで、早めの避難を心がけましょう。

周辺の浸水が始まった場合や夜間で避難経路が不明な場合など

- 垂直避難**
- 周辺道路が冠水している状況では、避難所まで向かわず、可能ならば自宅や近隣の2階に避難しましょう。
 - 普段は見えていた溝、水路やマンホールは浸水の泥水で見えません。十分に注意しましょう。
 - 歩ける深さの目安は膝ぐらいまでです。水深が浅くても、流れが速くなると危険です。安全を確認しながら高所で救助を待ちましょう。
 - 高齢の方、体の不自由な方、子ども等は、避難に時間がかかりますので、余裕をもって早めに避難しましょう。

いざという時の備え～日頃から備えておきたいこと～

★ハザードマップに載せている情報

- ① 浸水する深さ
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ② 到達時間
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③ 避難所
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、避難所等によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④ 歩行困難エリア
歩行が不可能または困難になるエリアを表示しました。



住んでいるところの避難所と避難経路を確認しておこう。



家族で逃げ方などについて話し合っておこう。



非常持ち出し袋を用意しておこう。



TVやラジオの情報に気をつけ、正確な情報収集を行おう。



避難の呼びかけにはすみやかにしたがろう。

自分の家や生活する場所が浸水想定区域に入っていないとしても、決して安心できません。浸水想定区域内にお住まいの方はもちろんのこと、それ以外の場所にお住まいの方も、浸水に備えて事前に避難所や避難経路を確認しておきましょう。

★地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう。
(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木など様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や災害時に危険な箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、水深が深くなる場所)、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

防災情報の提供について

★いわき市防災情報サイト

いわき市防災情報サイトでは、気象警報・災害情報や市の取組み、避難所、防災マップ・ハザードマップなど各種情報を掲載しています。また、市公式YouTubeに「いわき市防災講座」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



いわき市
防災情報サイト

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1445404773668/index.html>



防災情報サイト

★いわき市防災メール（登録無料）

いわき市では、東日本大震災や令和元年東日本台風などにより、大規模な災害に見舞われ、甚大な被害が発生したことを受けて、地域の災害対応能力を向上するための施策の一つとして、情報伝達手段の強化に取り組んでおります。被害を最小限に止め、あなたの命、大切な人の命を守るため、防災メールの登録をお願いします！

☒ 防災メールの登録方法

1. 右のQRコードを読み取り、「iwaki@entry.mail-dpt.jp」へ空メールを送信。
2. 確認用（仮登録）のメールが届きますので、メール本文から登録画面（本登録）へ。

※迷惑メール対策をされている方は、「iwaki-bousai@city.iwaki.fukushima.jp」からメールを受信できるように設定してください。



防災メール登録